

兵庫東支部 PC 同好会ご出席付録



No.229 : はなしのトリビア

No.229 : 2021/11/08 A コース

★ トリビア (英 trivia、「つまらない何の役にもたたない雑知識」の意)

★ PC 同好会の都度折々につまらないネタをご提供 (ネタのない時はパスします)

ご提供: 北村

本土空爆と原爆投下



◎ 日本本土が米軍の空爆に襲われ焦土と化し、原爆投下された「本土空爆と原爆投下」を検証します。

★ パックナンバー (発行記録) (パックナンバー再発行ご希望の方は北村にお申し出ください)

2012年度: No.1 : (んでら唄) No.2 : (フルベッキ写真) No.3 : (平安京結界図) No.4 : (外国地名漢字表記)

No.5 : (苗字ルーツ) No.6 : (和製漢語) No.7 : (五畿七道) No.8 : (皇室旗軍旗軍艦旗) No.9 : (難解姓氏) No.10 : (日本の仏教宗派)

No.11 : (陸軍部隊) No.12 : (海峡の国際法) No.13 : (海軍艦隊) No.14 : (鉄道唱歌東海道) No.15 : (たこ焼き) No.16 : (阪急電車)

2013年度: No.17 : (アホ・バカ) No.18 : (エスカレーター) No.19 : (江戸八百八町) No.20 : (浪速八百八橋)

No.21 : (陸軍墓地) No.22 : (大阪の電車) No.23 : (お好み焼き) No.24 : (鉄道の広軌と狭軌) No.25 : (中華料理)

No.26 : (旧暦と新暦) No.27 : (落語家) No.28 : (プロ野球球団) No.29 : (仏像の色々) No.30 : (交通通行の左右)

No.31 : (50~60周波数) No.32 : (日本の神様) No.33 : (元号) No.34 : (ホルモン・ドテ) No.35 : (天皇・皇帝・王)

No.36 : (歌舞伎の系譜) No.37 : (日本のビール) No.38 : (映画の歴史) No.39 : (県名の由来) No.40 : (日本酒)

2014年度: No.41 : (陶器と磁器) No.42 : (三百諸藩) No.43 : (焼酎) No.44 : (国鉄の本線名) No.45 : (ユニオンジャック)

No.46 : (ワイン) No.47 : (日本刀) No.48 : (世界三大宗教) No.49 : (路面電車) No.50 : (日本の洋食) No.51 : (諜報)

No.52 : (関東と関西) No.53 : (米海兵隊) No.54 : (支那の語源) No.55 : (薩摩と長州) No.56 : (共産主義) No.57 : (ノルマンディ)

No.58 : (龍馬暗殺) No.59 : (憲法制定) No.60 : (朝鮮島半島分断) No.61 : (源氏と平家) No.62 : (スパイ・ゾルゲ)

No.63 : (世界の酒) No.64 : (東大と京大)

2015年度: No.65 : (花押) No.66 : (西郷隆盛の顔) No.67 : (歴史上の国旗) No.68 : (おでん) No.69 : (幕末の開港) No.70 : (寿司)

No.71 : (ゼロ戦と新幹線) No.72 : (醤油) No.73 : (東京お台場) No.74 : (天ぷら) No.75 : (元寇) No.76 : (参謀本部と軍令部)

No.77 : (蒸気機関車) No.78 : (日本の城) No.79 : (満洲) No.80 : (町奉行) No.81 : (本能寺の変) No.82 : (旧国名の由来)

No.83 : (軍用機国籍標示) No.84 : (日本の貨幣の歴史) No.85 : (朝鮮半島) No.86 : (シベリア出兵) No.87 : (大坂の陣 400 年)

No.88 : (お雑煮)

2016年度: No.89 : (オレンジ計画) No.90 : (すき焼き) No.91 : (スエズ・パナマ) No.92 : (焼き鳥) No.93 : (台湾) No.94 : (うなぎ)

No.95 : (太平洋戦争の呼称) No.96 : (お茶) No.97 : (アングロサクソン) No.98 : (コーヒー) No.99 : (祇園山笠) No.100 : (二十四

節氣) No.101 : (海軍乙事件) No.102 : (昆布と鰹) No.103 : (神戸事件と堺事件) No.104 : (居酒屋) No.105 : (北海道分割計画)

No.106 : (ヰ) No.107 : (陸士と海兵) No.108 : (日本の伝統色) No.109 : (地下鉄) No.110 : (早稲田と慶應) No.111 : (幻の大坂遷都) No.112 : (琉球・沖縄)

2017年度: No.113 : (プロ野球のサイン) No.114 : (ふぐ料理) No.115 : (暗号) No.116 : (肉じゃが) No.117 : (右前と左前)

No.118 : (神戸と横浜) No.119 : (航空母艦) No.120 : (新梅田食道街) No.121 : (憲兵) No.122 : (欧州アジア系の国) No.123 : (忍者)

No.124 : (千島と樺太) No.125 : (靖国神社) No.126 : (地理上のインドの地名) No.127 : (潜水艦) No.128 : (うどんとそば)

No.129 : (盧溝橋事件) No.130 : (朝鮮と焼肉) No.131 : (日清戦争) No.132 : (鍋料理) No.133 : (日本列島の地政学)

No.134 : (干支と十干十二支) No.135 : (日露戦争) No.136 : (戒厳令)

2018年度: No.137 : (漢字) No.138 : (ラーメン) No.139 : (戦国大名) No.140 : (二・二六事件) No.141 : (摂政と関白) No.142 : (満洲事変)

No.143 : (洛中洛外) No.144 : (ロシア革命) No.145 : (守護と地頭) No.146 : (鳥羽伏見の戦い) No.147 : (戊辰戦争)

No.148 : (日本の財閥) No.149 : (室町の文化) No.150 : (マンホール蓋) No.151 : (西南戦争) No.152 : (ナンバープレート)

No.153 : (日本と日の丸) No.154 : (餃子と焼壳) No.155 : (曜日の由来) No.156 : (文字の縦書き横書き) No.157 : (和菓子)

No.158 : (○○の守) No.159 : (尼崎電話局番 06) No.160 : (食品サンプル)

2019年度: No.161 : (大使館と領事館) No.162 : (九州) No.163 : (尊王と佐幕) No.164 : (銃と砲) No.165 : (戦国の旗指物)

No.166 : (左翼と右翼) No.167 : (日本の伝統文様) No.168 : (カレー) No.169 : (日本の甲冑) No.170 : (阪急電車II) No.171 : (中国

共産党) No.172 : (家紋) No.173 : (関東軍) No.174 : (牛肉と豚肉) No.175 : (水引) No.176 : (シベリア抑留) No.177 : (新撰組)

No.178 : (キタとミナミ) No.179 : (船名と艦名) No.180 : (倭寇) No.181 : (軍艦戦没消失事件) No.182 : (六道珍皇寺)

No.183 : (東京駅の成立) No.184 : (チャップリン暗殺計画)

2020年度: No.185 : (新幹線ドクターアイエロー) No.186 : (大化の改新) No.187 : (上戸と下戸) No.188 : (三重県は何地方)

No.189 : (梅田歩道橋と浅草雷門) No.190 : (壬申の乱) No.191 : (大阪環状線) No.192 : (灘と伏見) No.193 : (ブルートレイン)

No.194 : (水軍) No.195 : (天王寺七坂) No.196 : (東京裁判) No.197 : (日本の頑固) No.198 : (金と銀) No.199 : (ハル・ノート)

No.200 : (天王山と閔ヶ原) No.201 : (日本四分割統治計画) No.202 : (スパイス) No.203 : (ものの始まり何でも堺)

No.204 : (城の石垣) No.205 : (徳利と盃) No.206 : (チーズ) No.207 : (ゼロの発見) No.208 : (ネクタイ)

2021年度: No.209 : 2021/01/XX A コース (年度の始まり) No.210 : 2021/01/XX B コース (東京大阪京都嫌い)

No.211 : 2021/02/XX A コース (琵琶湖疏水) No.212 : 2021/02/XX B コース (大阪とソース) No.213 : 2021/03/22 A コース (大日本ビケチ教)

No.214 : 2021/03/29 B コース (切子ガラス) No.215 : 2021/04/12 A コース (ノモンハン事件) No.216 : 2021/04/26 B コース (仏教の語源)

No.217 : 2021/05/10 A コース (南京攻略戦) No.218 : 2021/05/27 B コース (S P) No.219 : 2021/06/14 A コース (東珠湾攻撃)

No.220 : 2021/06/28 B コース (物の数え方) No.221 : 2021/07/12 A コース (ミッドウェイ海戦) No.222 : 2021/07/26 B コース (平将門と神田明神)

No.223 : 2021/08/XX A コース (ガダルカナル島戦) No.224 : 2021/08/XX B コース (孝明天皇毒殺説?) No.225 : 2021/09/XX A コース (インバー

ル作戦) No.226 : 2021/09/XX B コース (芸者と芸妓と舞妓) No.227 : 2021/10/XX A コース (沖縄地上戦) No.228 : 2021/10/XX B コース (幕末の

(裏面あり)

戦略爆撃：(英：Strategic Bombing：敵国領土を爆撃し、戦争遂行能力を破壊する航空攻撃)。

精密爆撃：戦場から離れた港湾、工場、油田などの施設を破壊する爆撃。

都市爆撃：住宅地、商業地を破壊して敵国民の士気を喪失させる爆撃(無差別爆撃)。

戦術爆撃：英：Tactical Bombing：戦場で敵の地上戦闘部隊を叩く爆撃で、通常の戦闘行為。

戦略爆撃の歴史：

都市爆撃の歴史：昭和 12(1937)年 4月 26 日、スペイン内戦でフランコ政権支持のナチスドイツがゲルニカ空爆、昭和 12(1937)年 8月、第二次上海事変で日本海軍機が上海を渡洋爆撃、

昭和 13(1938)年以降、日本軍が重慶爆撃、

昭和 15(1940)年 5月 14 日ナチスドイツのロッテルダム爆撃、

昭和 15(1940)年 9月 7 日～昭和 16(1941)年 5月 10 日、ナチスドイツが英ロンドン空爆、

昭和 18(1943)年 7月 24～27 日、英米軍が独ハンブルク爆撃、

昭和 20(1945)年 2月 13～15 日、英米軍が独ドレスデン爆撃、

米ドーリットルの日本本土空爆：昭和 17(1942)年 4月 18 日、米軍が房総東方の空母ホーネットより陸上機 B-25 爆撃機 16 機を発進、東京・川崎・名古屋・四日市・神戸を爆撃す。

日本本土空襲一覧：(長距離戦略爆撃機 B(Boing Bomber)-29 による通常爆弾と焼夷弾による都市爆撃、艦砲射撃)。

昭和 20(1945)年：

1月 16 日：京都、

3月 10 日：東京下町、3月 12 日：名古屋、3月 13 日：大阪、3月 17 日：神戸、

3月 18 日：大分、宇佐、佐伯、鹿児島郡元、3月 19 日：呉・名古屋・京都、3月 27 日：小倉、

4月 4 日：東京立川、4月 8 日：岡山玉野、4月 12 日：福島郡山、4月 13 日：東京城北、



4月 15 日：東京城南・京浜・川崎、4月 16 日：京都、4月 20 日：倉敷、4月 21 日：鹿児島、4月 22 日：京都、

5月 10 日：徳山、5月 11 日：神戸・京都御所、5月 14 日：名古屋、5月 24 日：東京、5月 25 日：東京山手、

5月 29 日：横浜、

6月 1 日：尼崎・奈良、6月 5 日：神戸、6月 7 日：大阪、6月 9 日：名古屋熱田、

6月 10 日：茨城土浦・日立・千葉、6月 15 日：大阪、6月 17 日：鹿児島、

6月 18 日：浜松・四日市、

6月 19 日：福岡・静岡・豊橋、6月 21 日：名古屋、6月 22 日：姫路・岡山水島・呉・各務原



東京空襲

6月 26 日：京都・奈良、6月 28 日：呉、6月 29 日：佐世保・岡山、

7月 1 日：熊本・呉、7月 2 日：下関、7月 3 日：姫路、7月 4 日：高松・徳島・高知、

7月 6 日：千葉・甲府、7月 7 日：静岡清水・明石、7月 9 日：和歌山・堺・岐阜、7月 10 日：仙台、

7月 12 日：宇都宮・鹿沼・敦賀、7月 13 日：愛知一宮、7月 14 日：岩手釜石(艦砲射撃)・北海道・青森、

7月 15 日：室蘭(艦砲射撃)、7月 16 日：大分・神奈川平塚、7月 17 日：沼津・日立(艦砲射撃)、

7月 18 日：千葉白浜(艦砲射撃)、7月 19 日：福井・日立・銚子・岡崎、7月 23 日：愛知犬山、

7月 24 日：大阪・愛知多半田・津・呉、7月 25 日：大分津久見・和歌山串本(艦砲射撃)、

7月 26 日：松山・福島平・徳山、7月 27 日：鹿児島、7月 28 日：青森・愛知一宮・宇治山田、



大阪空襲

7月 29 日：浜松(艦砲射撃)・大垣・津、7月 31 日：静岡清水(艦砲射撃)、

8月 1 日：水戸・八王寺・新潟長岡、8月 2 日：富山、8月 5 日：前橋・高崎・佐賀・今治、

8月 6 日：広島(原爆)、8月 7 日：愛知豊川、8月 8 日：福山・八幡、

8月 9 日：長崎(原爆)・青森大湊・岩手釜石(艦砲射撃)、8月 10 日：花巻・熊本、

8月 11 日：久留米・鹿児島加治木、8月 12 日：鹿児島加治木・鹿児島阿久根、8月 13 日：長野・上田、

8月 14 日：大阪京橋・岩国・山口光・熊谷・群馬伊勢崎・小田原・秋田土崎、

本土空襲の被害：

空襲被害：死者 198,961 名、負傷 271,617 名、行方不明 8,064 名、焼失家屋 1,430,000 戸、

艦砲射撃被害：死者 1,739 名、負傷 1,497 名、行方不明 29 名、

原爆被害：死者 109,328 名、負傷 78,488 名、行方不明 15,917 名、

総 計：死者 310,028 名、負傷 351,602 名、行方不明 24,010 名、

国際法と都市空爆・原爆投下：(無防備都市への軍事施設以外の一般都市村落、非戦闘員への攻撃は明白に違反)。

ハーフ陸戦条約：陸戦ノ法規慣例ニ関スル条約：明治 32(1899)年 7月 29 日蘭ハーフで調印、日本、米国も調印。

第 25 条：[防守サレナイ都市ノ攻撃] 防守セサル都市、村落、住宅又ハ建物ハ、如何ナル手段ニ依ルモ、之ヲ攻撃又ハ砲撃スルコトヲ得ス。

原 文：Art.25, The attack or bombardment, by whatever means, of towns, villages, dwellings which are undefended is prohibited。

兵庫東支部 PC 同好会ご出席付録



No.228 : はなしのトリビア

No.228 : 2021/10/26 B コース

★ トリビア（英 trivia、「つまらない何の役にもたたない雑知識」の意）

★ PC 同好会の都度折々につまらないネタをご提供（ネタのない時はパスします）

ご提供：北村

幕末の金銀流失



◎ 江戸末期、開港による為替交換比率の不備により、金銀貨の「幕末金銀流失」が発生す。

★ パックナンバー（発行記録）（パックナンバー再発行ご希望の方は北村にお申し出ください）

2012 年度：No.1：（でんでら唄） No.2：（フルベッキ写真） No.3：（平安京結界図） No.4：（外国地名漢字表記）

No.5：（苗字ルーツ） No.6：（和製漢語） No.7：（五畿七道） No.8：（皇室旗軍旗軍艦旗） No.9：（難解姓氏） No.10：（日本の仏教宗派）

No.11：（陸軍部隊） No.12：（海峡の国際法） No.13：（海軍艦隊） No.14：（鉄道唱歌東海道） No.15：（たこ焼き） No.16：（阪急電車）

2013 年度：No.17：（アホ・バカ） No.18：（エスカレーター） No.19：（江戸八百八町） No.20：（浪速八百八橋）

No.21：（陸軍墓地） No.22：（大阪の電車） No.23：（お好み焼き） No.24：（鉄道の広軌と狭軌） No.25：（中華料理）

No.26：（旧暦と新暦） No.27：（落語家） No.28：（プロ野球球団） No.29：（仏像の色々） No.30：（交通通行の左右）

No.31：（50~60 周波数） No.32：（日本の神様） No.33：（元号） No.34：（ホルモン・ドテ） No.35：（天皇・皇帝・王）

No.36：（歌舞伎の系譜） No.37：（日本のビール） No.38：（映画の歴史） No.39：（県名の由来） No.40：（日本酒）

2014 年度：No.41：（陶器と磁器） No.42：（三百諸藩） No.43：（焼酎） No.44：（国鉄の本線名） No.45：（ユニオンジャック）

No.46：（ワイン） No.47：（日本刀） No.48：（世界三大宗教） No.49：（路面電車） No.50：（日本の洋食） No.51：（諜報）

No.52：（関東と関西） No.53：（米海兵隊） No.54：（支那の語源） No.55：（薩摩と長州） No.56：（共産主義） No.57：（ノルマンディ）

No.58：（龍馬暗殺） No.59：（憲法制定） No.60：（朝鮮島半島分断） No.61：（源氏と平家） No.62：（スパイ・ゾルゲ）

No.63：（世界の酒） No.64：（東大と京大）

2015 年度：No.65：（花押） No.66：（西郷隆盛の顔） No.67：（歴史上の国旗） No.68：（おでん） No.69：（幕末の開港） No.70：（寿司）

No.71：（ゼロ戦と新幹線） No.72：（醤油） No.73：（東京お台場） No.74：（天ぷら） No.75：（元寇） No.76：（参謀本部と軍令部）

No.77：（蒸気機関車） No.78：（日本の城） No.79：（満洲） No.80：（町奉行） No.81：（本能寺の変） No.82：（旧国名の由来）

No.83：（軍用機国籍標示） No.84：（日本の貨幣の歴史） No.85：（朝鮮半島） No.86：（シベリア出兵） No.87：（大坂の陣 400 年）

No.88：（お雑煮）

2016 年度：No.89：（オレンジ計画） No.90：（すき焼き） No.91：（スエズ・パナマ） No.92：（焼き鳥） No.93：（台湾） No.94：（うなぎ）

No.95：（太平洋戦争の呼称） No.96：（お茶） No.97：（アングロサクソン） No.98：（コーヒー） No.99：（祇園山笠） No.100：（二十四

節気） No.101：（海軍乙事件） No.102：（昆布と蟹） No.103：（神戸事件と堺事件） No.104：（居酒屋） No.105：（北海道分割計画）

No.106：（井） No.107：（陸士と海兵） No.108：（日本の伝統色） No.109：（地下鉄） No.110：（早稲田と慶應） No.111：（幻の大坂

遷都） No.112：（琉球・沖縄）

2017 年度：No.113：（プロ野球のサイン） No.114：（ふぐ料理） No.115：（暗号） No.116：（肉じゃが） No.117：（右前と左前）

No.118：（神戸と横浜） No.119：（航空母艦） No.120：（新梅田食道街） No.121：（憲兵） No.122：（欧州アジア系の国） No.123：（忍者）

No.124：（千島と樺太） No.125：（靖国神社） No.126：（地理上のインドの地名） No.127：（潜水艦） No.128：（うどんとそば）

No.129：（盧溝橋事件） No.130：（朝鮮と焼肉） No.131：（日清戦争） No.132：（鍋料理） No.133：（日本列島の geopolitics）

No.134：（干支と十干十二支） No.135：（日露戦争） No.136：（戒厳令）

2018 年度 No.137：（漢字） No.138：（ラーメン） No.139：（戦国大名） No.140：（二・二六事件） No.141：（摂政と閑院） No.142：

（満洲事変） No.143：（洛中洛外） No.144：（ロシア革命） No.145：（守護と地頭） No.146：（鳥羽伏見の戦い） No.147：（戊辰戦争）

No.148：（日本の財閥） No.149：（室町の文化） No.150：（マンホール蓋） No.151：（西南戦争） No.152：（ナンバープレート）

No.153：（日本と日の丸） No.154：（餃子と焼壳） No.155：（曜日の由来） No.156：（文字の縦書き横書き） No.157：（和菓子）

No.158：（〇〇の守） No.159：（尼崎電話局番 06） No.160：（食品サンプル）

2019 年度 No.161：（大使館と領事館） No.162：（九州） No.163：（尊王と佐幕） No.164：（銃と砲） No.165：（戦国の旗指物）

No.166：（左翼と右翼） No.167：（日本の伝統文様） No.168：（カレー） No.169：（日本の甲冑） No.170：（阪急電車 II） No.171：（中国

共産党） No.172：（家紋） No.173：（関東軍） No.174：（牛肉と豚肉） No.175：（水引） No.176：（シベリア抑留） No.177：（新撰組）

No.178：（キタとミナミ） No.179：（船名と艦名） No.180：（倭寇） No.181：（軍艦歿傍消失事件） No.182：（六道珍皇寺）

No.183（東京駅の成立） No.184（チャップリン暗殺計画）

2020 年度 No.185：（新幹線ドクターイエロー） No.186：（大化の改新） No.187：（上戸と下戸） No.188：（三重県は何地方）

No.189：（梅田歩道橋と浅草雷門） No.190：（壬申の乱） No.191：（大阪環状線） No.192：（灘と伏見） No.193：（ブルートレイン）

No.194：（水軍） No.195：（天王寺七坂） No.196：（東京裁判） No.197：（日本の頑固） No.198：（金と銀） No.199：（ハル・ノート）

No.200：（天王山と閑ヶ原） No.201：（日本四分割統治計画） No.202：（スペイン） No.203：（ものの始まり何でも堺）

No.204：（城の石垣） No.205：（徳利と盃） No.206：（チーズ） No.207：（ゼロの発見） No.208：（ネクタイ）

2021 年度 No.209：2021/01/XX A コース（年度の始まり） No.210：2021/01/XX B コース（東京大阪京都嫌い） No.211：2021/02/XX A コース（琵琶湖疏水）

No.212：2021/02/XX B コース（大阪とソース） No.213：2021/03/22 A コース（大日本ビケチ教） No.214：2021/03/29 B コース（切子ガラス）

No.215：2021/04/12 A コース（ノモンハン事件） No.216：2021/04/26 B コース（仏教の語源） No.217：2021/05/10 A コース（南京攻略戦）

No.218：2021/05/27 B コース（S P） No.219：2021/06/14 A コース（真珠湾攻撃） No.220：2021/06/28 B コース（物の教え方）

No.221：2021/07/12 A コース（ミッドウェイ海戦） No.222：2021/07/26 B コース（平将門と神川明神） No.223：2021/08/XX A コース（ガダルカナル島戦）

No.224：2021/08/XX B コース（孝明天皇毒殺説？） No.225：2021/09/XX A コース（インバール作戦） No.226：2021/09/XX B コース（芸者と芸妓と舞妓）

No.227：2021/10/XX A コース（沖縄地上戦） (裏面あり)

江戸期の貨幣制度 : (幕末の開港については、No.69「幕末の開港」を、貨幣制度については、No.84「日本の貨幣の歴史」をご参照)。

江戸期の貨幣単位 : 金(係数貨幣(江戸で通用)) : 1両(金) = 4分(金) = 16朱(金) = 4,000文(錢1貫)。

銀(秤量貨幣(大坂で通用)) : 1匁(銀 3.7g) = 金 10分 = 1,000匁 = 4,000文(錢1貫)。

開港による貨幣交換比率 : (嘉永7(1854)年旧暦3月3日、日米和親条約が締結、為替比率が必要となる)。

貨幣交換比率の交渉 : 嘉永7(1854)年旧暦6月12日より、下田了仙寺にて交換比率の交渉が行われ、幕府側は1ドル銀=1分金を主張、米側は金貨銀貨ともに同種同量を主張、決着がつかなかった。



貨幣交換比率の決定 : 安政3(1856)年旧暦10月7日、幕府は、下田にて、米総領事ハリス(Townsend Harris)と交渉、ハリスに、

ハリス 1メキシコドル銀貨 天保1分銀

天保1分銀(23匁=8.62g)、1メキシコドル銀貨(26.73g: 当時世界貿易決済に使用された貨幣)、

よって、100ドル=1分銀311枚に相当、従って、1分銀3枚=1ドル、が妥当。

と押し切られ、幕府は、1ドル銀貨1枚=1分銀3枚、の交換比率を承諾す。

金貨の大量流失 : (1ドル銀貨1枚=1分銀3枚、の交換比率が原因で、幕府金貨が大量に流失す)。



日本の金銀が海外で3倍の価値を生む(ハリス自身もこの方法で私財を増やした)。

幕府の安政2朱銀の発行と反対による廃止 : (幕府外国奉行水野忠徳(幕臣旗本筑後守)が、安政2朱銀の発行を行なう)。



1ドル=1分銀の比率に戻る。



発行と廃止 : 新2朱銀の交換が開始されたが、米総領事ハリス、英総領事オールコック(Sir Rutherford Alcock)等が大反対し、同年旧暦6月22日、僅か20日余りで廃止される。

安政2朱銀

万延小判の発行 : (幕府は、金量目を1/3に下げた万延小判を発行す)。



発金品目是正の万延小判 : 万延1(1860)年旧暦4月10日、幕府は、万延小判を発行、交換比率で3倍の金品位を持ち金銀流失の因となった天保小判に代り、金量目を1/3に落した万延小判を発行、交換比率1ドル=1分銀に戻り、金銀貨の外国流失騒動は沈静化してゆくも、他方、貨幣品位低下(金含有量の低下=貨幣価値の低下)で、江戸を中心に、激しい物価上昇(インフレーション)に見舞われる。



金銀流失の量 : (流失量の資料記録は詳細なく、推定金額も諸説あり)。



流失の金銀量 : 幕府金銀貨幣の海外流失総額は、推定50万両(現在価値=2億5千万円)とされる。

水野忠徳 オールコック

兵庫東支部 PC 同好会ご出席付録



No.192 : はなしのトリビア

No.192 : 2020/04/27 B コース(コロナ PC 中止)

★トリビア (英 trivia、「つまらない何の役にもたたない雑知識」の意)

★PC 同好会の都度折々につまらないネタをご提供 (ネタのない時はパスします) ご提供: 北村

灘と伏見



灘 伏見

◎「日本酒」に関しては、No.40「日本酒」でご紹介しましたが、今回はその二大酒所「灘と伏見」です。

★バックナンバー (発行記録) (バックナンバー再発行ご希望の方は北村にお申し出ください)

2012年度: No.1: (でんでら鳴) No.2: (フルベッキ写真) No.3: (平安京結界図) No.4: (外国地名漢字表記)

No.5: (苗字ルーツ) No.6: (和製漢語) No.7: (五畿七道) No.8: (皇室旗軍旗軍艦旗) No.9: (難解姓氏)

No.10: (日本の仏教宗派) No.11: (陸軍部隊) No.12: (海峡の国際法) No.13: (海軍艦隊) No.14: (鉄道唱歌東海道)

No.15: (たこ焼き) No.16: (阪急電車)

2013年度: No.17: (アホ・バカ) No.18: (エスカレーター) No.19: (江戸八百八町) No.20: (浪速八百八橋)

No.21: (陸軍墓地) No.22: (大阪の電車) No.23: (お好み焼き) No.24: (鉄道の広軌と狭軌) No.25: (中華料理)

No.26: (旧暦と新暦) No.27: (落語家) No.28: (プロ野球球団) No.29: (仏像の色々) No.30: (交通通行の左右)

No.31: (50~60周波数) No.32: (日本の神様) No.33: (元号) No.34: (ホルモン・ドテ) No.35: (天皇・皇帝・王)

No.36: (歌舞伎の系譜) No.37: (日本のビール) No.38: (映画の歴史) No.39: (県名の由来) No.40: (日本酒)

2014年度: No.41: (陶器と磁器) No.42: (三百諸藩) No.43: (焼酎) No.44: (国鉄の本線名) No.45: (ユニオンジャック)

No.46: (ワイン) No.47: (日本刀) No.48: (世界三大宗教) No.49: (路面電車) No.50: (日本の洋食) No.51: (諜報)

No.52: (関東と関西) No.53: (米海兵隊) No.54: (支那の語源) No.55: (薩摩と長州) No.56: (共産主義)

No.57: (ノルマンディ) No.58: (龍馬暗殺) No.59: (憲法制定) No.60: (朝鮮島半島分断) No.61: (源氏と平家)

No.62: (スパイ・ゾルゲ) No.63: (世界の酒) No.64: (東大と京大)

2015年度: No.65: (花押) No.66: (西郷隆盛の顔) No.67: (歴史上の国旗) No.68: (おでん) No.69: (幕末の開港)

No.70: (寿司) No.71: (ゼロ戦と新幹線) No.72: (醤油) No.73: (東京お台場) No.74: (天ぷら) No.75: (元寇)

No.76: (参謀本部と軍令部) No.77: (蒸気機関車) No.78: (日本の城) No.79: (満洲) No.80: (町奉行) No.81: (本能寺の変)

No.82: (旧国名の由来) No.83: (軍用機国籍標示) No.84: (日本の貨幣の歴史) No.85: (朝鮮半島) No.86: (シベリア出兵)

No.87: (大坂の陣 400 年) No.88: (お雑煮)

2016年度: No.89: (オレンジ計画) No.90: (すき焼き) No.91: (スエズ・パナマ) No.92: (焼き鳥) No.93: (台湾)

No.94: (うなぎ) No.95: (太平洋戦争の呼称) No.96: (お茶) No.97: (アングロサクソン) No.98: (コーヒー)

No.99: (祇園山笠) No.100: (二十四節気) No.101: (海軍乙事件) No.102: (昆布と鰹) No.103: (神戸事件と堺事件)

No.104: (居酒屋) No.105: (北海道分割計画) No.106: (井) No.107: (陸士と海兵) No.108: (日本の伝統色)

No.109: (地下鉄) No.110: (早稲田と慶應) No.111: (幻の大坂遷都) No.112: (琉球・沖縄)

2017年度: No.113: (プロ野球のサイン) No.114: (ふぐ料理) No.115: (暗号) No.116: (肉じゃが) No.117: (右前と左前)

No.118: (神戸と横浜) No.119: (航空母艦) No.120: (新梅田食道街) No.121: (憲兵) No.122: (欧州アジア系の国)

No.123: (忍者) No.124: (千島と樺太) No.125: (靖国神社) No.126: (地理上のインドの地名) No.127: (潜水艦)

No.128: (うどんとそば) No.129: (盧溝橋事件) No.130: (朝鮮と焼肉) No.131: (日清戦争) No.132: (鍋料理)

No.133: (日本列島の地政学) No.134: (干支と十干十二支) No.135: (日露戦争) No.136: (戒厳令)

2018年度: No.137: (漢字) No.138: (ラーメン) No.139: (戦国大名) No.140: (二・二六事件) No.141: (摂政と関白)

No.142: (満洲事変) No.143: (洛中洛外) No.144: (ロシア革命) No.145: (守護と地頭) No.146: (鳥羽伏見の戦い)

No.147: (戊辰戦争) No.148: (日本の財閥) No.149: (室町の文化) No.150: (マンホール蓋) No.151: (西南戦争)

No.152: (ナンバープレート) No.153: (日本と日の丸) No.154: (餃子と焼壳) No.155: (曜日の由来)

No.156: (文字の縦書き横書き) No.157: (和菓子) No.158: (○○の守) No.159: (尼崎電話局番 06)

No.160: (食品サンプル)

2019年度: No.161: (大使館と領事館) No.162: (九州) No.163: (尊王と佐幕) No.164: (銃と砲) No.165: (戦国の旗指物)

No.166: (左翼と右翼) No.167: (日本の伝統文様) No.168: (カレー) No.169: (日本の甲冑) No.170: (阪急電車 II)

No.171: (中国共産党) No.172: (家紋) No.173: (関東軍) No.174: (牛肉と豚肉) No.175: (水引) No.176: (シベリア抑留)

No.177: (新撰組) No.178: (キタとミナミ) No.179: (船名と艦名) No.180: (倭寇) No.181: (軍艦戦没事件)

No.182: (六道珍皇寺) No.183: (東京駅の成立) No.184: (チャップリン暗殺計画)

2020年度

No.185: 2019/01/17 A コース (新幹線ドクターイエロー) No.186: 2019/01/27 B コース (大化の改新)

No.187: 2019/02/10 A コース (上戸と下戸) No.188: 2019/02/27 B コース (三重県は何地方)

No.189: 2019/03/09 A コース (梅田歩道橋と浅草雷門) No.190: 2019/03/23 B コース (壬申の乱)

No.191: 2019/04/13 A コース (大阪環状線) (裏面あり)

日本酒とは：(米・麹・水を主原料とする日本特有の製法で醸造された醸造酒である清酒)。

日本酒の歴史：

稲作(水稻)の発祥：(稲作の起源は、紀元前、中国長江流域湖南省周辺と考えられている)。

日本への伝来：(弥生期、朝鮮半島経由説・江南説・南方説、の三説が論じられている)。

朝鮮半島経由説：朝鮮半島から日本へ伝来との説。

江南説(対馬海流ルート)：中国江南(長江流域南方)から対馬海流に沿って北九州に伝来との説。

南方説(黒潮ルート)：中国南部(南支)から琉球、南西諸島を経由して伝来との説。

古代：弥生期、稲作(水稻)文化が伝来、米から何らかの発酵変化の「酒」らしきものを食す。

練酒(ねりざけ)：ペースト状粘性の酒で、白濁の「白酒(しろき)」・古代黒米の「黒酒(くろき)」があり、皇室の新嘗祭では、現在も二種が供えられる。

麹酒(こうじざけ)：米麦からの麹(一種のカビ)を使った醸造が始ま

り、中国・朝鮮半島の酒は現在も「麦麹」の発酵であるが、日本で

は稻麹(米麹)の発酵が使われ、米麹による発酵が日本酒の唯一の特

長であり、世界唯一の米麹発酵の『日本酒』の登場となる。



練白酒 練黒酒

飛鳥期：持統3(689)年旧暦6月、飛鳥淨御原令で宮内省造酒司(みきつかさ)の官制が整えられ、朝廷で麹室・臼殿・酒殿の三殿が配置され酒造りが始まり、以来、平城京・平安京と続く。

僧坊酒(そうぼうしゅ)：朝廷酒に代って、飛鳥・奈良の寺院で精白米を用いた南都諸白(なんともろはく)の酒が造られ、主流の濁り酒に対し諸白酒と呼ばれ、後の清酒に近い透明度のある酒であったが、戦国期以降、寺院での酒造は衰退す。

室町期：

他所酒(よそざけ)：僧坊酒に代って、諸国での酒造(他所酒と称す)が広まってゆく。

伊丹酒・池田酒・灘酒：(摂津国猪名川上流の伊丹・池田が台頭、後、灘に移行す)。

伊丹郷：慶長5(1600)年、山中新六幸元(戦国武将山中鹿之助遺児：鴻池家の祖)が、伊丹郷で清酒の醸造法を確立、濁酒(にごりざけ)から澄酒(すみざけ=清酒)となり広く流通す。

伊丹：白雪・老松。

池田郷：伊丹郷の猪名川対岸、池田郷でも同様の生産が行われる。

池田：呉春・縁一。

灘郷：江戸幕府成立以降、酒造に適し、江戸への輸送に最適な湾岸の摂津灘郷が隆盛す。

灘五郷：(キリッとした「灘の男酒」と称される)

江戸前期：灘目三郷と称され、今津郷・上灘郷・下灘郷の三郷。

江戸中期：上灘郷が三組に分裂、今津郷・東組(魚崎郷)・中組(御影郷)・西組(西郷)・下灘郷(神戸中央区)の五郷となる。



明治中期：下灘郷が衰退し、新たに西宮郷が加わる。灘五郷図→

今津郷：大関・扇政宗・金鹿。

西宮郷：白鹿・白鷹・日本盛・多門・金鷹・徳若。 宮水の碑↓

魚崎郷：桜正宗・金正宗・浜福鶴。 樽廻船(中)→

御影郷：白鶴・菊正宗・剣菱・福寿・泉正宗。

西郷：沢の鶴・忠勇・富久娘・金盃。 航路(右)→



灘の宮水：六甲山系の伏流水が西宮戎神社の南東から湧出(硬水)、宮水として酒造に最も適す。

樽廻船：(江戸期、灘・伊丹・池田の酒荷を江戸へ輸送(下り酒)。



伏見酒：(旧地名：伏水：まろやかな「伏見の女酒」と称される)。

桃山期：豊臣秀吉の伏見城築城で伏見が栄え、酒造業が発展す。

明治中期：天下の酒どころとして、灘と並び二大醸造地となる。

御香宮神社 御香宮水

伏見の水：桃山丘陵の豊富な水脈が御香宮水として湧出(中硬水～軟水)、酒造に最適である。

伏見：桜・松竹梅・富翁・月桂冠・金鷹正宗・正徳・玉の光・英勲・鶴正宗。

兵庫東支部 PC 同好会ご出席付録



No.191 : はなしのトリビア

No.191 : 2020/04/13 A コース(コロナ PC 中止)

★トリビア (英 trivia、「つまらない何の役にもたたない雑知識」の意)

★PC 同好会の都度折々につまらないネタをご提供 (ネタのない時はパスします) ご提供: 北村

大阪環状線

大阪環状線(103 系)→



◎ No.183 「東京駅の成立」での山手線の如く、「大阪環状線」も最初はつながっていませんでした。

★バックナンバー (発行記録) (バックナンバー再発行ご希望の方は北村にお申し出ください)

2012 年度: No.1 : (でんでら唄) No.2 : (フルベッキ写真) No.3 : (平安京結界図) No.4 : (外国地名漢字表記)

No.5 : (苗字ルーツ) No.6 : (和製漢語) No.7 : (五畿七道) No.8 : (皇室旗軍旗軍艦旗) No.9 : (難解姓氏)

No.10 : (日本の仏教宗派) No.11 : (陸軍部隊) No.12 : (海峡の国際法) No.13 : (海軍艦隊) No.14 : (鉄道唱歌東海道)

No.15 : (たこ焼き) No.16 : (阪急電車)

2013 年度: No.17 : (アホ・バカ) No.18 : (エスカレーター) No.19 : (江戸八百八町) No.20 : (浪速八百八橋)

No.21 : (陸軍墓地) No.22 : (大阪の電車) No.23 : (お好み焼き) No.24 : (鉄道の広軌と狭軌) No.25 : (中華料理)

No.26 : (旧暦と新暦) No.27 : (落語家) No.28 : (プロ野球球団) No.29 : (仏像の色々) No.30 : (交通通行の左右)

No.31 : (50~60 周波数) No.32 : (日本の神様) No.33 : (元号) No.34 : (ホルモン・ドテ) No.35 : (天皇・皇帝・王)

No.36 : (歌舞伎の系譜) No.37 : (日本のビール) No.38 : (映画の歴史) No.39 : (県名の由来) No.40 : (日本酒)

2014 年度: No.41 : (陶器と磁器) No.42 : (三百諸藩) No.43 : (焼酎) No.44 : (国鉄の本線名) No.45 : (ユニオンジャック)

No.46 : (ワイン) No.47 : (日本刀) No.48 : (世界三大宗教) No.49 : (路面電車) No.50 : (日本の洋食) No.51 : (諜報)

No.52 : (関東と関西) No.53 : (米海兵隊) No.54 : (支那の語源) No.55 : (薩摩と長州) No.56 : (共産主義)

No.57 : (ノルマンディ) No.58 : (龍馬暗殺) No.59 : (憲法制定) No.60 : (朝鮮島半島分断) No.61 : (源氏と平家)

No.62 : (スパイ・ゾルゲ) No.63 : (世界の酒) No.64 : (東大と京大)

2015 年度: No.65 : (花押) No.66 : (西郷隆盛の顔) No.67 : (歴史上の国旗) No.68 : (おでん) No.69 : (幕末の開港)

No.70 : (寿司) No.71 : (ゼロ戦と新幹線) No.72 : (醤油) No.73 : (東京お台場) No.74 : (天ぷら) No.75 : (元寇)

No.76 : (参謀本部と軍令部) No.77 : (蒸気機関車) No.78 : (日本の城) No.79 : (満洲) No.80 : (町奉行) No.81 : (本能寺の変)

No.82 : (旧国名の由来) No.83 : (軍用機国籍標示) No.84 : (日本の貨幣の歴史) No.85 : (朝鮮半島) No.86 : (シベリア出兵)

No.87 : (大坂の陣 400 年) No.88 : (お雑煮)

2016 年度: No.89 : (オレンジ計画) No.90 : (すき焼き) No.91 : (エズ・パナマ) No.92 : (焼き鳥) No.93 : (台湾)

No.94 : (うなぎ) No.95 : (太平洋戦争の呼称) No.96 : (お茶) No.97 : (アングロサクソン) No.98 : (コーヒー)

No.99 : (祇園山笠) No.100 : (二十四節気) No.101 : (海軍乙事件) No.102 : (昆布と鰹) No.103 : (神戸事件と堺事件)

No.104 : (居酒屋) No.105 : (北海道分割計画) No.106 : (井) No.107 : (陸士と海兵) No.108 : (日本の伝統色)

No.109 : (地下鉄) No.110 : (早稲田と慶應) No.111 : (幻の大坂遷都) No.112 : (琉球・沖縄)

2017 年度: No.113 : (プロ野球のサイン) No.114 : (ふぐ料理) No.115 : (暗号) No.116 : (肉じゃが) No.117 : (右前と左前)

No.118 : (神戸と横浜) No.119 : (航空母艦) No.120 : (新梅田食道街) No.121 : (憲兵) No.122 : (欧州アジア系の国)

No.123 : (忍者) No.124 : (千島と権太) No.125 : (靖国神社) No.126 : (地理上のインドの地名) No.127 : (潜水艦)

No.128 : (うどんとそば) No.129 : (盧溝橋事件) No.130 : (朝鮮と焼肉) No.131 : (日清戦争) No.132 : (鍋料理)

No.133 : (日本列島の地政学) No.134 : (干支と十干十二支) No.135 : (日露戦争) No.136 : (戒厳令)

2018 年度: No.137 : (漢字) No.138 : (ラーメン) No.139 : (戦国大名) No.140 : (二・二六事件) No.141 : (摂政と関白)

No.142 : (満洲事変) No.143 : (洛中洛外) No.144 : (ロシア革命) No.145 : (守護と地頭) No.146 : (鳥羽伏見の戦い)

No.147 : (戊辰戦争) No.148 : (日本の財閥) No.149 : (室町の文化) No.150 : (マンホール蓋) No.151 : (西南戦争)

No.152 : (ナンバープレート) No.153 : (日本と日の丸) No.154 : (餃子と焼壳) No.155 : (曜日の由来)

No.156 : (文字の縦書き横書き) No.157 : (和菓子) No.158 : (○○の守) No.159 : (尼崎電話局番 06)

No.160 : (食品サンプル)

2019 年度: No.161 : (大使館と領事館) No.162 : (九州) No.163 : (尊王と佐幕) No.164 : (銃と砲) No.165 : (戦国の旗指物)

No.166 : (左翼と右翼) No.167 : (日本の伝統文様) No.168 : (カレー) No.169 : (日本の甲冑) No.170 : (阪急電車II)

No.171 : (中国共産党) No.172 : (家紋) No.173 : (関東軍) No.174 : (牛肉と豚肉) No.175 : (水引) No.176 : (シベリア抑留)

No.177 : (新撰組) No.178 : (キタとミナミ) No.179 : (船名と艦名) No.180 : (倭寇) No.181 : (軍艦歎傍消失事件)

No.182 : (六道珍皇寺) No.183 : (東京駅の成立) No.184 : (チャップリン暗殺計画)

2020 年度:

No.185 : 2019/01/17 A コース (新幹線ドクターイエロー) No.186 : 2019/01/27 B コース (大化の改新)

No.187 : 2019/02/10 A コース (上戸と下戸) No.188 : 2019/02/27 B コース (三重県は何地方)

No.189 : 2019/03/09 A コース (梅田歩道橋と浅草雷門) No.190 : 2019/03/23 B コース (壬申の乱) (裏面あり)

環状線の原形・城東線と西成線 : (大阪駅は、明治7(1874)年5月11日開業)。

城東線 : 明治22(1889)年5月14日、大阪鉄道(民営)が柏原～天王寺～湊町間開業。

- ◎ 明治28(1895)年5月28日、大阪鉄道が天王寺～玉造間開業。
- ◎ 同年10月17日、大阪鉄道が玉造～梅田間延伸開業。
- ◎ 明治33(1900)年6月6日、大阪鉄道が関西鉄道(民営)に合併、民営の関西鉄道梅田駅を官営大阪駅に統合。
- ◎ 明治38(1905)年3月1日、桃山駅を桃谷駅に改称。
- ◎ 明治40(1907)年10月1日、関西鉄道が国有化される。
- ◎ 明治42(1909)年10月12日、国有化により、城東線(天王寺～大阪)の名称となる。
- ◎ 昭和8(1933)年9月16日、城東線(天王寺～大阪)が電化される。



城東線(赤:明治30年代)

西成線 : 明治31(1898)年4月5日、西成鉄道(民営)が大阪～西九条～安治川口間開業。

- ◎ 明治39(1906)年12月1日、西成鉄道が国有化される。
- ◎ 明治42(1909)年10月12日、国有化により、西成線(大阪～西九条)の名称となる。
- ◎ 昭和16(1941)年5月1日、西成線(大阪～西九条)が電化。



城東線・西成線の直結 : 昭和18(1943)年10月1日、城東線・西成線が直結される。

大阪環状線の完成 :

- ◎ 昭和36(1961)年4月25日、城東線(天王寺～大阪)・西成線(大阪～西九条～天王寺)が直通運転され、大阪環状線の名称となり、西九条～桜島間は桜島線の名称となる。

大阪環状線の唯一の地上区間はなぜ? :

全線路高架の中の地上線路(京橋～森ノ宮)? :

- ◎ 昭和8(1933)年以降、大阪環状線(旧城東線・旧西成線)は順次、電化・高架化・複線化されていったが、現在に至るも旧城東線の『京橋駅』～『森ノ宮駅』間の線路のみは高架ではなく地上線路であり、京橋駅(高架駅)を出発した外回り電車は地上線路を走行、地上駅の大阪城公園駅を出て、森ノ宮駅の手前で高架になり、森ノ宮駅(高架駅)に入る。
- ◎ 内回り電車は、その逆である。



地上線区間(京橋～森ノ宮)

- ◎ 城東線の高架化が計画されたとき、鉄道省はこの軍事地帯(線路西側=陸軍造兵廠・東側=陸軍城東練兵場)区間の高架化を軍部に申請するも、列車から工廠を覗かれるとの理由で、陸軍省は「軍事機密保持」のため『高架化』を認めず、その状態が現在に至っている。
- ◎ 戦時中は、同区間走行の列車は、窓を閉め、カーテンを下す、ことを命じられていた。

大阪砲兵工廠 :

- ◎ 明治3(1870)年旧暦2月3日、明治維新後、新政府の兵部大輔大村益次郎(長州)は、大阪に一大陸軍拠点建設を計画、大阪城周辺に兵部省直轄の「大阪造兵司」が設置される。
- ◎ 以降、「大阪砲兵工廠」～「陸軍造兵廠大阪工廠」～「大阪陸軍造兵廠」と改称され、国内最大の軍事工場で、市民には『砲兵工廠』の愛称で呼ばれた。
- ◎ 昭和20(1945)年8月14日、米軍の大空襲で工廠の80%が被災壊滅す(死者382名)。
- ◎ 戦後も焼跡の状態で、大阪ビジネスパーク(OBP)に整備される迄荒れ放題の状態であった。

兵庫東支部 PC 同好会ご出席付録



No.189 : はなしのトリビア

No.189 : 2020/03/09 A コース(コロナ PC 中止)

★トリビア (英 trivia、「つまらない何の役にもたたない雑知識」の意)

★PC 同好会の都度折々につまらないネタをご提供 (ネタのない時はパスします) ご提供: 北村

梅田歩道橋と浅草雷門



◎「松下幸之助さん」と「梅田歩道橋と浅草雷門」です。 松下幸之助さん 梅田歩道橋 浅草雷門

★バックナンバー (発行記録) (バックナンバー再発行ご希望の方は北村にお申し出ください)

2012 年度 : No.1 : (でんでら唄) No.2 : (フルベッキ写真) No.3 : (平安京結界図) No.4 : (外国地名漢字表記)

No.5 : (苗字ルーツ) No.6 : (和製漢語) No.7 : (五畿七道) No.8 : (皇室旗軍旗軍艦旗) No.9 : (難解姓氏)

No.10 : (日本の仏教宗派) No.11 : (陸軍部隊) No.12 : (海峡の国際法) No.13 : (海軍艦隊) No.14 : (鉄道唱歌東海道)

No.15 : (たこ焼き) No.16 : (阪急電車)

2013 年度 : No.17 : (アホ・バカ) No.18 : (エスカレーター) No.19 : (江戸八百八町) No.20 : (浪速八百八橋)

No.21 : (陸軍墓地) No.22 : (大阪の電車) No.23 : (お好み焼き) No.24 : (鉄道の広軌と狭軌) No.25 : (中華料理)

No.26 : (旧暦と新暦) No.27 : (落語家) No.28 : (プロ野球球団) No.29 : (仏像の色々) No.30 : (交通通行の左右)

No.31 : (50~60 周波数) No.32 : (日本の神様) No.33 : (元号) No.34 : (ホルモン・ドテ) No.35 : (天皇・皇帝・王)

No.36 : (歌舞伎の系譜) No.37 : (日本のビール) No.38 : (映画の歴史) No.39 : (県名の由来) No.40 : (日本酒)

2014 年度 : No.41 : (陶器と磁器) No.42 : (三百諸藩) No.43 : (焼酎) No.44 : (国鉄の本線名) No.45 : (ユニオンジャック)

No.46 : (ワイン) No.47 : (日本刀) No.48 : (世界三大宗教) No.49 : (路面電車) No.50 : (日本の洋食) No.51 : (諜報)

No.52 : (関東と関西) No.53 : (米海兵隊) No.54 : (支那の語源) No.55 : (薩摩と長州) No.56 : (共産主義)

No.57 : (ノルマンディ) No.58 : (龍馬暗殺) No.59 : (憲法制定) No.60 : (朝鮮島半島分断) No.61 : (源氏と平家)

No.62 : (スペイ・ブルグ) No.63 : (世界の酒) No.64 : (東大と京大)

2015 年度 : No.65 : (花押) No.66 : (西郷隆盛の顔) No.67 : (歴史上の国旗) No.68 : (おでん) No.69 : (幕末の開港)

No.70 : (寿司) No.71 : (ゼロ戦と新幹線) No.72 : (醤油) No.73 : (東京お台場) No.74 : (天ぷら) No.75 : (元寇)

No.76 : (参謀本部と軍令部) No.77 : (蒸気機関車) No.78 : (日本の城) No.79 : (満洲) No.80 : (町奉行) No.81 : (本能寺の変)

No.82 : (旧国名の由来) No.83 : (軍用機国籍標示) No.84 : (日本の貨幣の歴史) No.85 : (朝鮮半島) No.86 : (シベリア出兵)

No.87 : (大坂の陣 400 年) No.88 : (お雑煮)

2016 年度 : No.89 : (オレンジ計画) No.90 : (すき焼き) No.91 : (エズ・パナマ) No.92 : (焼き鳥) No.93 : (台湾)

No.94 : (うなぎ) No.95 : (太平洋戦争の呼称) No.96 : (お茶) No.97 : (アングロサクソン) No.98 : (コーヒー)

No.99 : (祇園山笠) No.100 : (二十四節気) No.101 : (海軍乙事件) No.102 : (昆布と鰹) No.103 : (神戸事件と堺事件)

No.104 : (居酒屋) No.105 : (北海道分割計画) No.106 : (井) No.107 : (陸士と海兵) No.108 : (日本の伝統色)

No.109 : (地下鉄) No.110 : (早稻田と慶應) No.111 : (幻の大坂遷都) No.112 : (琉球・沖縄)

2017 年度 : No.113 : (プロ野球のサイン) No.114 : (ふぐ料理) No.115 : (暗号) No.116 : (肉じゃが) No.117 : (右前と左前)

No.118 : (神戸と横浜) No.119 : (航空母艦) No.120 : (新梅田食道街) No.121 : (憲兵) No.122 : (欧州アジア系の国)

No.123 : (忍者) No.124 : (千島と樺太) No.125 : (靖国神社) No.126 : (地理上のインドの地名) No.127 : (潜水艦)

No.128 : (うどんとそば) No.129 : (盧溝橋事件) No.130 : (朝鮮と焼肉) No.131 : (日清戦争) No.132 : (鍋料理)

No.133 : (日本列島の地政学) No.134 : (干支と十干十二支) No.135 : (日露戦争) No.136 : (戒厳令)

2018 年度 No.137 : (漢字) No.138 : (ラーメン) No.139 : (戦国大名) No.140 : (二・二六事件) No.141 : (摂政と関白)

No.142 : (満洲事変) No.143 : (洛中洛外) No.144 : (ロシア革命) No.145 : (守護と地頭) No.146 : (鳥羽伏見の戦い)

No.147 : (戊辰戦争) No.148 : (日本の財閥) No.149 : (室町の文化) No.150 : (マンホール蓋) No.151 : (西南戦争)

No.152 : (ナンバープレート) No.153 : (日本と日の丸) No.154 : (餃子と焼壳) No.155 : (曜日の由来)

No.156 : (文字の縦書き横書き) No.157 : (和菓子) No.158 : (○○の守) No.159 : (尼崎電話局番 06)

No.160 : (食品サンプル)

2019 年度 No.161 : (大使館と領事館) No.162 : (九州) No.163 : (尊王と佐幕) No.164 : (銃と砲) No.165 : (戦国の旗指物)

No.166 : (左翼と右翼) No.167 : (日本の伝統文様) No.168 : (カレー) No.169 : (日本の甲冑) No.170 : (阪急電車 II)

No.171 : (中国共産党) No.172 : (家紋) No.173 : (関東軍) No.174 : (牛肉と豚肉) No.175 : (水引) No.176 : (シベリア抑留)

No.177 : (新撰組) No.178 : (キタとミナミ) No.179 : (船名と艦名) No.180 : (倭寇) No.181 : (軍艦撃沈事件)

No.182 : (六道珍皇寺) No.183 : (東京駅の成立) No.184 : (チャップリン暗殺計画)

2020 年度

No.185 : 2019/01/17 A コース (新幹線ドクターアイエロー) No.186 : 2019/01/27 B コース (大化の改新)

No.187 : 2019/02/10 A コース (上戸と下戸)

梅田歩道橋 :

都市交通量の増加 : 昭和 30(1955~)年代に入り、日本の高度経済成長が始まり、都市への人口集中から交通事情が悪化、都市問題が深刻化して行く。



大阪駅前の交通 梅田歩道橋完成 歩道橋寄贈銘板

大阪駅前の交通事情 : 大阪市では、交通の難所である大阪駅前南側交差点(阪急・阪神百貨店前の交通緩和の為の架橋計画)が資金面で行き詰まっていた。

松下電器の陸橋の寄贈 : 昭和 39(1964)年 2月、これら都市問題や増加する交通事故に強い危機感を有していた松下幸之助さんが、陸橋の寄贈を申し出た。

梅田歩道橋の完成 : 同年 10月 24日、大阪駅前阪急阪神両百貨店を結ぶ L字型の日本最大「梅田歩道橋」が完成、中馬馨大阪市長と松下幸之助さんがテープカットして開通式が行われた。

浅草雷門 :

浅草寺 : (金龍山浅草寺、聖觀音宗總本山)。

創建 : 天長 5(828)年創建、又、天安 1(857)年創建とも。



本尊 : 推古天皇 36(628)年、隅田川で漁の兄弟の網にかかつた「金色の仏像(高さ 5.5 センチ : 非公開)」。

浅草雷門 雷門大提灯寄贈銘板

雷門 : 正式 : 風雷神門、慶応 1(1865)年、消失して仮設の門のみであった。

松下幸之助さんの浅草寺祈願 : 生来病弱の松下幸之助さんは、しばしば浅草寺に参拝していた。

門と大提灯の寄贈 : 昭和 35(1960)年、住職清水谷恭順師の要請を受け、松下幸之助さんが病気平癒祈願の法恩のため消失して再建されていなかった雷門と大提灯を寄贈、約 100 年ぶりに再建された。

雷門大提灯 : 高さ 3.9m、直径 3.3m、重さ 700kg、京都丹波の竹で骨組み、福井産楮(こうぞ)和紙約 300 枚、純日本製提灯で、京都市下京区「高橋提灯」が制作、10 年毎に新調される。

新世界通天閣 : (ネオン広告を断った松下電器)。



新世界通天閣は大阪のシンボル :

初代通天閣 : 明治 45(1912)年 7月 3日、「内国勧業博覧会」

の跡地に「新世界ルナパーク」と「通天閣」が出来る。

昭和 18(1943)年 2月 13日、鉄材を軍需資材献納、解体された。初代通天閣 現日立のネオン

二代目通天閣 : 昭和 31(1956)年 10月、念願の二代目通天閣が再建され完成す。

通天閣のネオン広告 :

初代通天閣の電気工事に携わった松下幸之助さん : 当時、大阪電灯の職工だった松下幸之助さん(17 歳)は、配線工として初代通天閣の配線工事に参加していた。

松下電器に広告を打診 : 二代目通天閣再建当初、松下電器に「ネオン広告」の打診があったが、松下幸之助さんは「広告掲出」を見送る。

日立が広告掲出 : 昭和 32(1957)年、日立製作所が、塔側面に「ネオン広告」を掲出す。

広告掲出見送りを悔いた松下幸之助さん : 日立のネオンが名物として広く知された後年、松下幸之助さんは、広告掲出しなかったことを悔やんだ、と云われる。



テレビ時代劇番組・水戸黄門 : (通天閣ネオン広告の逆スポンサー)。

驚異の長期寿命番組 : 東京 TBS 系列(関西は MBS 毎日放送)で毎週月曜 20

時~放送、昭和 44(1969)年 8月 4日~平成 23(2011)年 12月 19日間、42

年間(全 43 部、1227 回)、松下電器(~パナソニック)単独スポンサー提供の

テレビ水戸黄門

長期のお化け番組」と称された「国民的テレビ時代劇」となった。

水戸黄門(光圀)は水戸藩 : 水戸光圀は常陸(茨城)の水戸藩、だが、松下電器が提供し続けてきた。

松下と日立・関西と関東 : 雷門・梅田歩道橋・水戸黄門・通天閣ネオン広告 :

松下幸之助さんは、二代目通天閣のネオン広告を断り、日立(関東)になったことに後年悔やんだとも云われ、松下(関西)の威信にかけて、その後の、浅草雷門の寄進、梅田歩道橋の寄進、水戸黄門スポンサーと、寄贈寄進スポンサー提供の貢献をされた、のかも知れない。